

令和3年第1回岡崎市社会教育審議会会議録

日 時	令和3年8月4日(水)	午後2時～午後3時
会 場	市役所東庁舎2階大会議室	
出席委員	石川 春次	(元岡崎市立中学校長) 会長
	野田 光宏	(元岡崎市立中学校長) 副会長
	赤崎 類子	(岡崎市立小学校長)
	佐々木 公麿	(岡崎市私立幼稚園協会前会長)
	小久井 孝幸	(岡崎市PTA連絡協議会顧問)
	水野 達	(岡崎市学区社会教育委員長連絡協議会会長)
	加納 寛樹	(岡崎市子ども会育成者連絡協議会会長)
	荻野 嘉美	(千万町・木下ふるさとづくり委員会委員長)
	福田 貴子	(社会教育指導員)
	葉山 栄子	(名古屋学芸大学参与)
	浅岡 悦子	(市民公募)
事務局	社会教育課長 福澤、副課長 柴田	
	社会教育係 内田、伊藤	

- 議 事
- 1 あいさつ
 - 2 議題
 - (1) 社会教育関係団体への補助金について
 - (2) 社会教育審議会の年間活動計画について

議事録

(1) 社会教育関係団体への補助金について

事務局：社会教育団体への補助金について説明。

委員：敬老会補助金がおよそ20%の減となった。新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減もあり、対象年齢の変更も検討しているとのことであったが、税収が戻った際には元の水準に増額してもらいたいと考えている。

委員：他の補助金も減額にはなっていないなくとも、事業の中止等により返納するしかない状況となっている。

委員：補助金の減額には他にも様々な原因があると感じている。例えば、子ども会では会員の減少で閉鎖した学区もあると聞く。敬老会についても、本来、高齢者が増えたことは全市を挙げ喜ぶべきことであり、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた際には、積極的に声を出していくような審議会にしたいと思っている。

委員：子ども会における脱退者の増加については、各学区において様々な行事への参加を依頼されやすいことも原因と感じている。

委員：地域の中で気付いてもらえるよう積極的に声を挙げることも重要だと思う。例えば、学区において運動会のテント設営が子ども会の負担となっていると聞き、役割を見直した事例があった。話し合い気付いたことを皆でやっていく、そういった火付け役に審議会がなければならない。

(2) 社会教育審議会の年間活動計画について

事務局：年間活動計画について説明。

- ・次回審議会は令和4年2月に開催予定